PAW-1205(15020)

施工説明書

# ダイレクトバルブ便器
# （センサー大便器（床上排水）置換仕様）

このたびは当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

**注意**
- この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。
- 施工後は必ず試運転を行ってください。
- お客さまに必ず本書と取扱説明書や保証書（ヒーター付便器の場合）をお渡しください。お渡しするときは、使用方法をご説明ください。

## 安全のために守ってください！

便器を安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。
施工前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。

### 用語の説明

**警告** ・・・ 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。

**注意** ・・・ 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

### ⚠ 警告

本体や電源プラグに水や洗剤をかけないでください。
※ 感電・火災の恐れがあります。
（100V 電源使用の場合）
水かけ禁止

修理技術者以外の人は、分解したり修理・改造は行わないでください。
※感電・火災・ケガの原因になります。
（100V 電源使用の場合）
分解禁止

ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。
※感電の原因になります。
（100V 電源使用の場合）
ぬれ手禁止

バスルーム内など湿気の多い場所には、設置しないでください。
※感電・火災の原因となります。
（100V 電源使用の場合）
水場使用禁止

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
※ 電源コードが破損し、感電・火災の原因になります。
（100V 電源使用の場合）
禁止

ガタついているコンセントは使用しないでください。
※ 感電・火災の原因になります。
（100V 電源使用の場合）
禁止

●交流 100V 以外では使用しないでください。
●タコ足配線など定格をこえる使い方はしないでください。
※ 火災の原因となります。
（100V 電源使用の場合）
禁止

電源プラグをコンセントに差し込むときは、根元まで十分差し込んでください。
※ 感電・火災の原因になります。
（100V 電源使用の場合）
指示実行

### ⚠ 注意

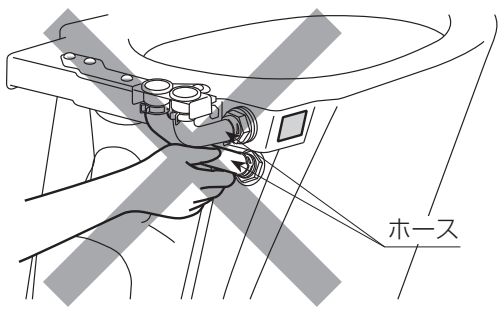
陶器は割れものです。
●施工前に輸送中の破損がないことを確かめてください。
●施工後に施工段階での破損がないことを確かめてください。
※ 破損部でケガをしたり、漏水により室内浸水の原因になります。
指示実行

止水栓の調節と施工後の漏水点検を必ず行ってください。
※ 漏水し、室内浸水の原因になります。
指示実行

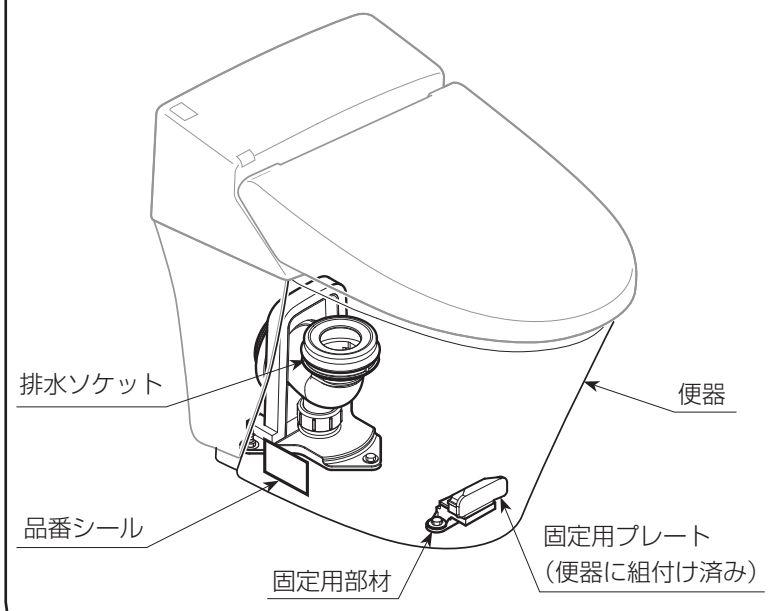
お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。
※ 凍結破損で漏水し、室内浸水の原因になります。
指示実行

## 施工前の注意

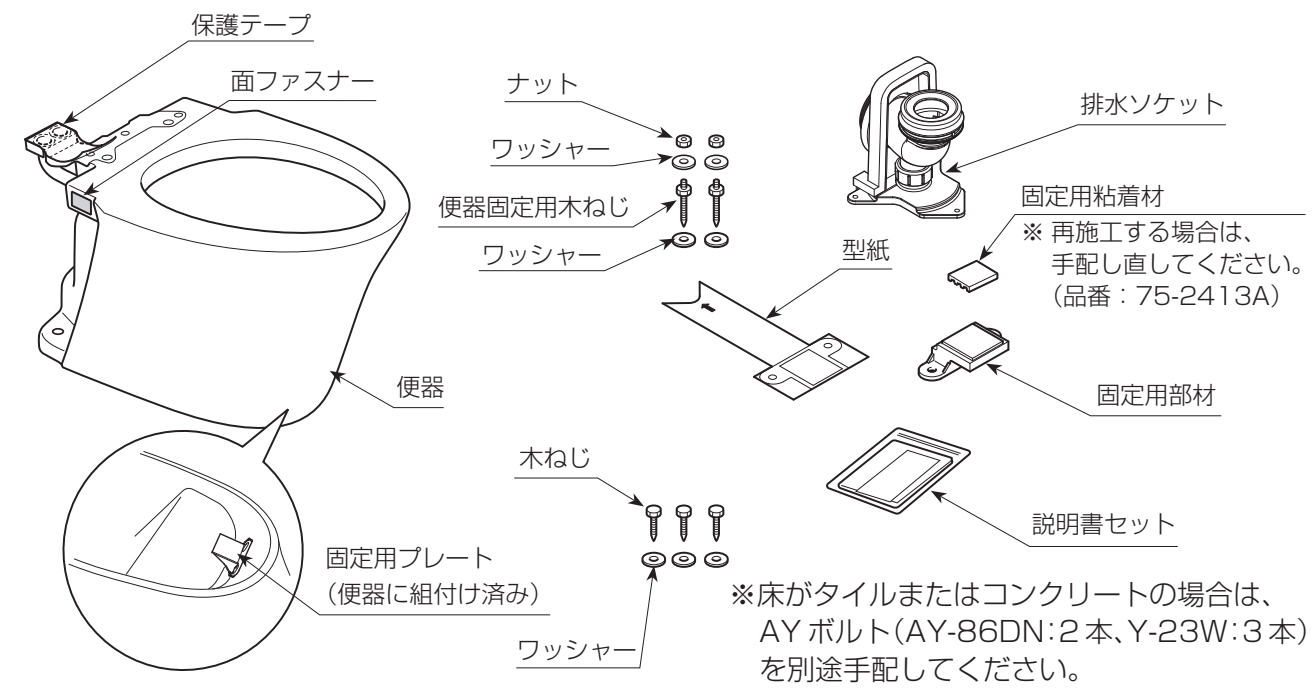
**便器後部のホースを持たないでください。**
※ホースが外れると、漏水の原因となったり、便器洗浄が正常に行えなくなります。




## 各部のなまえ




## 部品の確認（梱包内容を確認してください。）

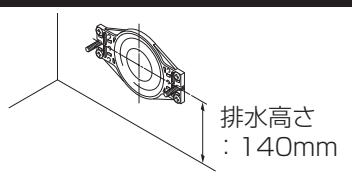



※床がタイルまたはコンクリートの場合は、AY ボルト（AY-86DN：2 本、Y-23W：3 本）を別途手配してください。

● **この便器を取り付けるためには、別売の偏芯ソケット（品番：CF-10PHS）が必要です。必ず偏芯ソケットと組み合わせて取り付けてください。**

## 排水高さの確認

排水高さが 140mm であることを確認してください。

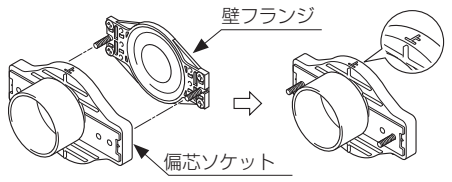


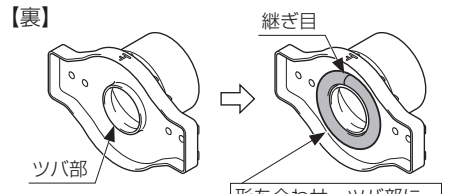

## ■参考 偏芯ソケットの取付方法

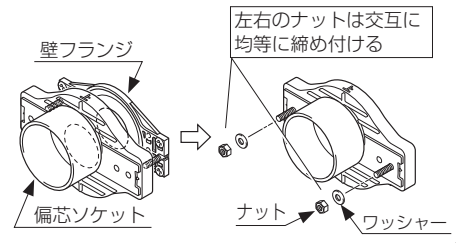
(1) 取り付いている壁フランジの便器固定ボルトの間隔を確認して偏芯ソケットを仮合わせし、フランジ側のボルトが通ることを確認します。
※仮合わせするときは、「上」の文字が上側にくるようにしてください。

(2) 偏芯ソケットのツバ部にガスケットを取り付けます。
※ガスケットの継ぎ目が上側にくるように取り付けてください。

(3) 偏芯ソケットの裏側と壁フランジの中心を合わせてボルトを通してワッシャーとナットで固定します。
※上下逆に取り付けないでください。排水不良の原因となります。
フランジの中心と偏芯ソケットの中心を確実に合わせて取り付けてください。
ずれた状態で取り付けると漏水したり、排水不良の原因となることがあります。




**商品・施工方法についてのお問い合わせは、お客さま相談センターまで　　ナビダイヤル　TEL 0570-017-173**

**受付時間　平日 9:00 ～ 18:00　土・日・祝日 9:00 ～ 17:00（ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く）**

## 1 排水ソケットの取付け

(1) 排水ソケットの上面が水平となるように排水ソケット本体を偏芯ソケットに接続します。

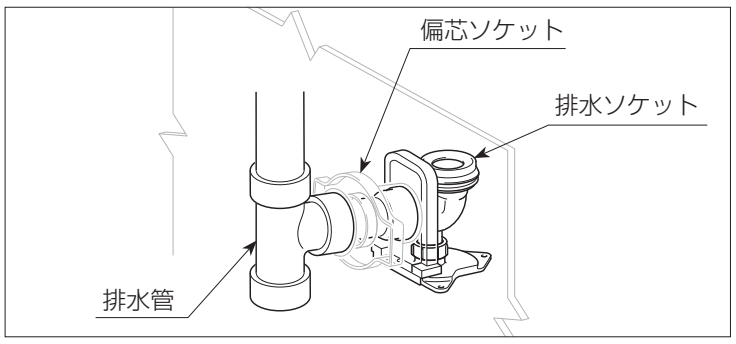
**※接続用パッキンの表面と偏芯ソケットの内面に石けん水を塗ると接続が容易です。**

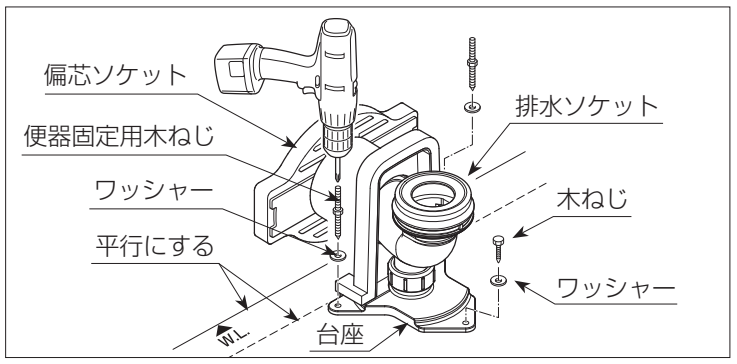
**※排水ソケットを落とさないでください。破損する恐れがあります。**

注意 7 参照 注意 8 参照

(2) 台座の方向を調節し、台座の後面が壁と平行になるように位置決めします。

(3) 便器固定用木ねじで台座後側を床に固定し、木ねじで台座前側を固定します。
床がタイルまたはコンクリートの場合は、下穴（径 11mm、深さ 55mm）をあけ、AY ボルトを使用します。 注意 9 参照



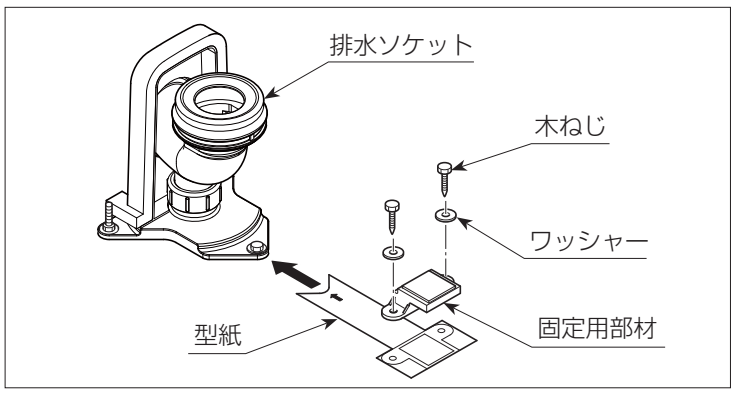




## 2 固定用部材の取付け

排水ソケットの先端に合わせて型紙を置き、固定用部材の位置を決めます。

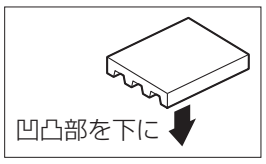
型紙を取り除き、固定用部材を木ねじで固定します。

床がタイルまたはコンクリートの場合は、下穴（径 11mm、深さ 55mm）をあけ、AY ボルトを使用します。 注意 10 参照




## 3 便器の取付け

(1) 固定用粘着材を図のように凹凸部を下にした状態で、固定用部材の上に置きます。




※固定用粘着材は固定用部材の中心にくるように置いてください。

※固定用粘着材に、水気や汚れが付かないようにしてください。

注意 11 参照

(2) 便器を持ち上げ、便器後部先端が偏芯ソケットに当たらないように便器を斜めにしながら、排水芯と後ろ固定ビスの間に便器後部先端を差し込みます。

(3) 後ろ固定ビスの中心と便器後部穴の中心を合わせ、便器を下ろします。

**※便器の排水口が、排水ソケットの排水ゴムジョイントにしっかり差し込まれていることを確認してください。**

注意 12 参照

(4) 便器前方をゆっくりおろし、固定用部材側の固定用粘着材と便器側の固定用プレートをあわせます。

(5) 便器前方を床に便器が着くまで押し下げます。
※便器をしっかり圧着させるための作業です。

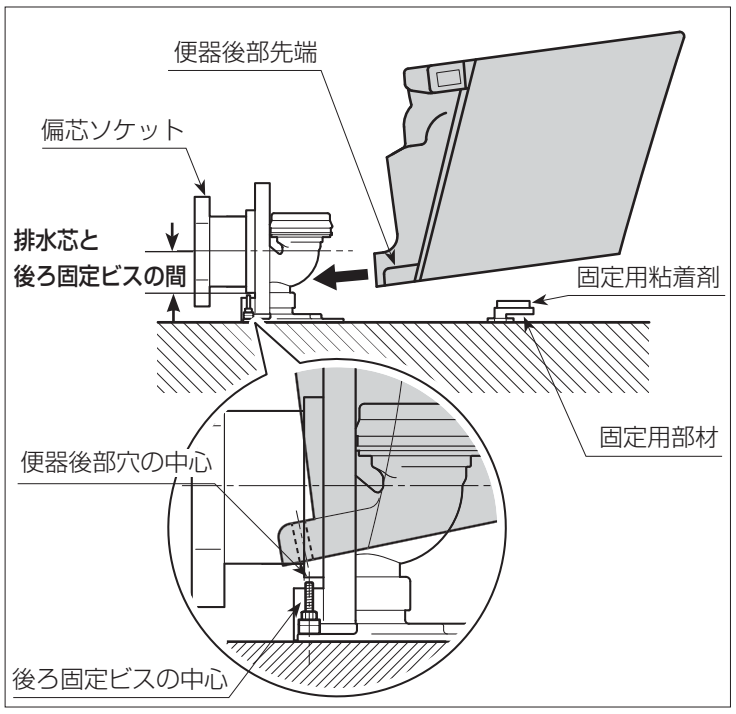
(6) 便器を軽くゆすり、便器先端が固定されていることを確認します。
※位置合わせがずれている場合は、便器前方を持ち上げて、位置合わせを行い、そのまま便器を押し下げて取り付け直します。

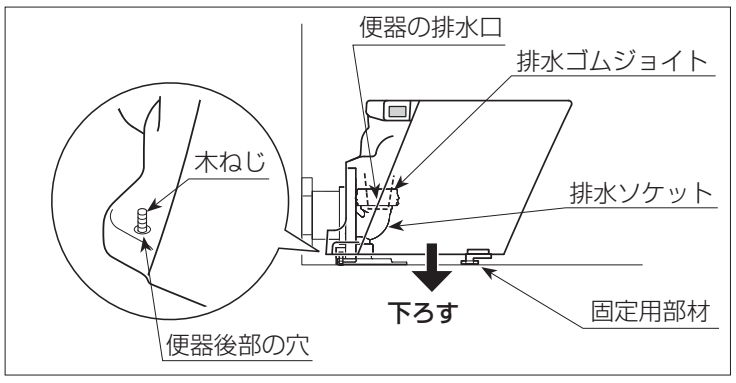
(7) ワッシャーと固定ナットでしっかりと固定します。

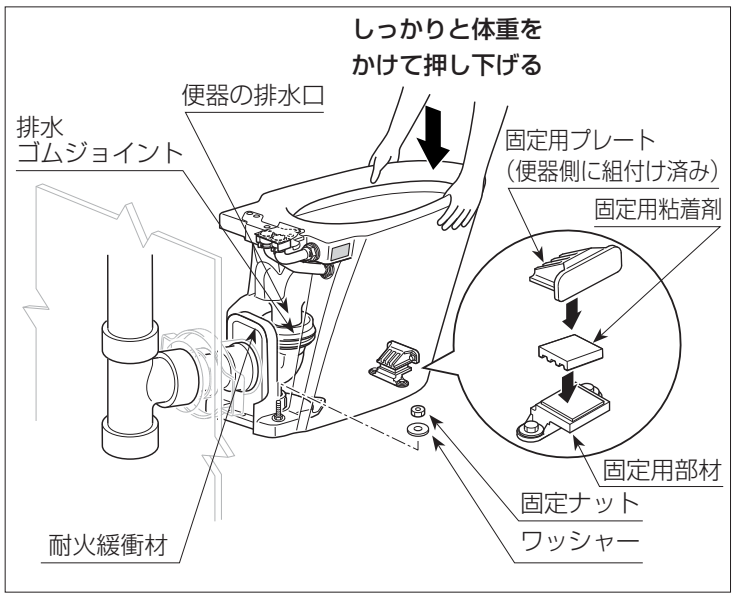
注意 13 参照 注意 14 参照

※便器を取り付け直す場合

注意 15 参照

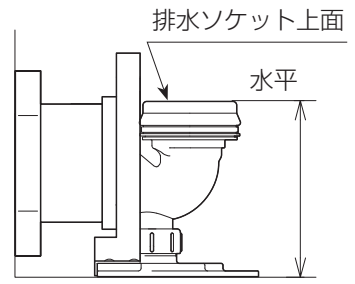


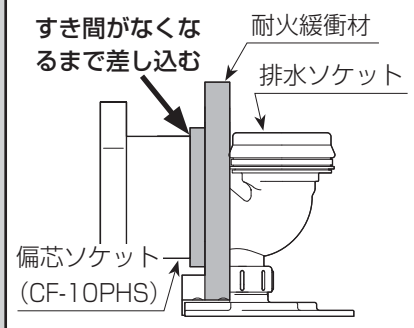

**注 意 7**

**排水ソケット本体の上面が水平となるように接続してください。**




**注 意 8**

**排水ソケットは耐火緩衝材がつぶれて、偏芯ソケットとのすき間がなくなるまで差し込んでください。**




**※すき間から漏水する恐れがあります。**

**注 意 9**

**電動ドライバー等の工具を使用する場合、耐火緩衝材に接触しないよう注意してください。**

**注 意 10**

**固定用部材に切粉等のゴミが付着しないようにしてください。付着している場合はきれいに取り除いてください。**

**※便器の固定不良の原因になります。**

**注 意 11**

**気温が低い場合、固定用粘着材が固くなることがあります。暖めて柔らかくしてからご使用ください。**

**※固定用粘着材は、直接お湯に入れないでください。入れる場合は、ビニール袋等に入れて暖めてください。**

**注 意 12**

**便器の台座を排水ソケットの上に載せないでください。**

**※ソケットが破損したり、パッキンを傷めて漏水の恐れがあります。**

**注 意 13**

**固定ナットは締めすぎないようにしてください。**

**※陶器が割れる恐れがあります。**

**注 意 14**

**洗浄水口を傷つけたり、異物が混入しないようにしてください。**

**注 意 15**

**便器を外す際、便器後部にある便器固定ねじで便器を傷つけないように注意してください。**